

# 黒髪山葡萄園だより



9月3日土曜日、今年の収穫が無事に終了。例年以上に雨の多かった梅雨時にはどうなるものと心配しておりましたが、7月中旬以降は逆にほとんど雨も降らなくなり、結果的には健全な実が獲れました。今年は猿が早く出始めたので、7月中旬から収穫までの間は愛犬「まう」と日の出前から見張りの日々。

さて収穫日。朝の10時位にボランティアの方に集まって頂き収穫を開始。お昼休憩をはさみ2時位には摘み終わりました。収穫量は820キロ。だいたい去年の2倍です。昨年、実が詰まり過ぎている房が多くみられたので、今年は開花後に実を間引いてみました。その結果、1房の大きさは半分くらいになりましたが、房の中までよく熟してくれました。夕方には2トラックをレンタルしてきて、醸造委託先へ出発。今年は滋賀県のヒトミワイナリーさんをお願いをしました。昨年(長野県)より近隣のため運転はかなり楽で、夜10時位には滋賀県到着。高速道路のサービスエリアで1泊し、翌朝に搬入、すぐに仕込みを開始。昨日の今頃にはまだ畑に生っていた葡萄が、搾られてワインへと変化しているのを見ると1年間の成果の結晶のような感じがして感慨深いものです。

ワイン好きの方には有名ですが、ヒトミワイナリーさんはおもしろく新しいワインをいっぱい作っているワイナリーです。無濾過・無清澄の「にごりワイン」を基本に色々なタイプがあり、どれもとてもおいしいワインです。来年発売予定の2016年産ワインも今年とはまた違ったスタイルになると思います。楽しみにしてください。

さて・・・収穫が終わった翌週、収穫に使ったカゴを運んでいるときに腰に強烈な痛みが。2年ぶり3回目のギックリ腰です。そういえば前回も同じようにカゴを運んでいるときだった。「収穫後で良かったな」という安心感と「収穫が終わって気が抜けていたな」という自己嫌悪感が交錯しております。みなさまもお体大切に。

## ～今年の防除(農薬散布)暦～

3/30 休眠期 ベンレート500倍(黒とう病) 石灰硫黄合剤10倍(殺虫) 5/2 萌芽直後 ジマンダイセン1500倍(べと病) モスピラン 2000倍(殺虫)

5/18 開花前 トップジン1000倍(べと病) インプレッション 500倍(灰かび病) 6/3 開花後 ランマン 2000倍(べと病) インプレッション 500倍(灰かび病)

6/14 結実後 ランマン2000倍(べと病) コロマイト 2000倍(殺ダニ) エスマルク 2000倍(殺虫) 6/26 果実肥大期 リドミル2000倍

7/1 ドーシャス2000倍(べと病) フェニックス3000倍(殺虫) 7/15 インプレッション500倍(灰かび病) 7/22 レーバス2000倍(べと病)

↓↓

## 収穫日・9月3日

※今年のポイントはボルドー液を使わない「ノンボルドー」。詳しくは次号で紹介します。

※昨年同様に「散布頻度はこまめに、1回の散布量・濃度は少なめに」を心がけています(10aあたり100～150L散布)。

※太字の農薬は有機 JAS 認定の農薬です。

## 完売御礼

4月末ごろに販売開始した初出荷のワイン(2種計400本)は無事に5月末に完売いたしました。ありがとうございました。販売前はどれくらい売れるか不安でしたがおかげさまで北海道～鹿児島まで全国各地よりご注文いただきました。親戚、友人、前職の人たち、嫁の友人、instagram やホームページを見てくださった方など色々なところより連絡いただきました。また、今回は数量が少なかった(特にシャルドネ)こともあり、売り切れ後に連絡くださった方申し訳ありません。来年もよろしくお祈りします。